

がん患者さんの **医療従事者向け**  
**障害年金**について  
**医療現場におけるサポート**  
 2024  
**6月18日(火) 19:00~20:00**  
 主催：認定NPO法人がんサポーターネットワーク

多田 雄真  
 大阪国際がんセンター  
 血液内科・AYA世代サポート  
 チーム 診療主任

川崎 由華  
 一般社団法人がんライフ  
 アドバイザー協会 代表理事

**参加費 無料**  
 ※要申込

**オンライン開催**  
 (Zoom ウェビナー)

2024年7月12日(金)

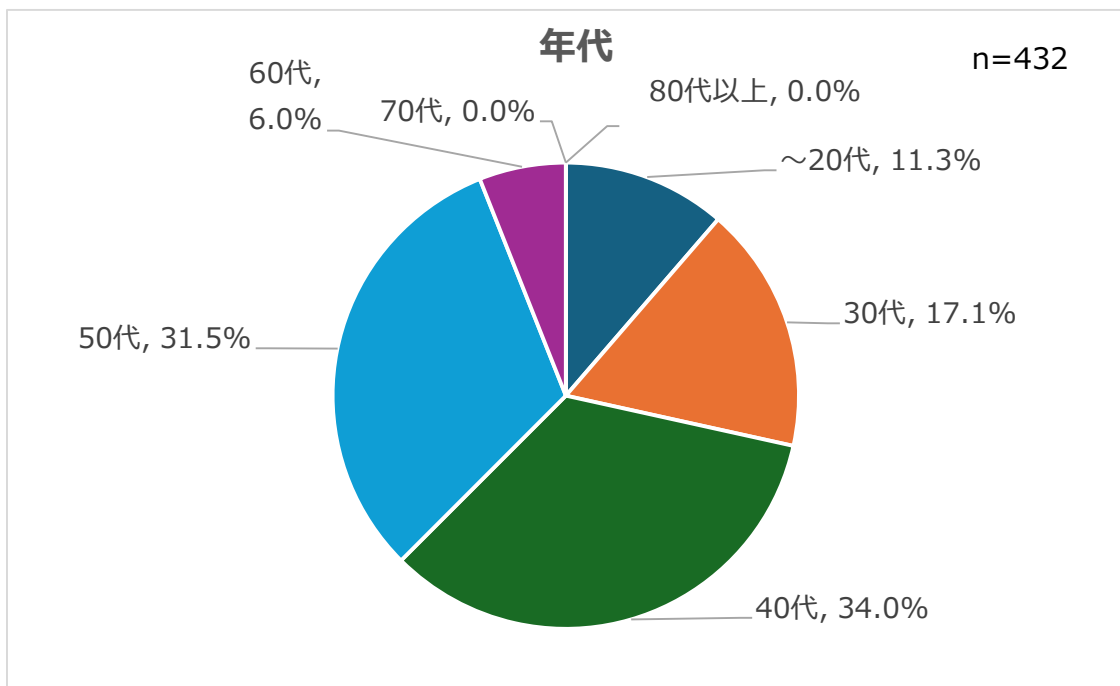
医療従事者向け がん患者さんの障害年金について～ 医療現場におけるサポート  
 アンケート結果のご報告

開催日： 2024年6月18日(火) 19:00-20:00

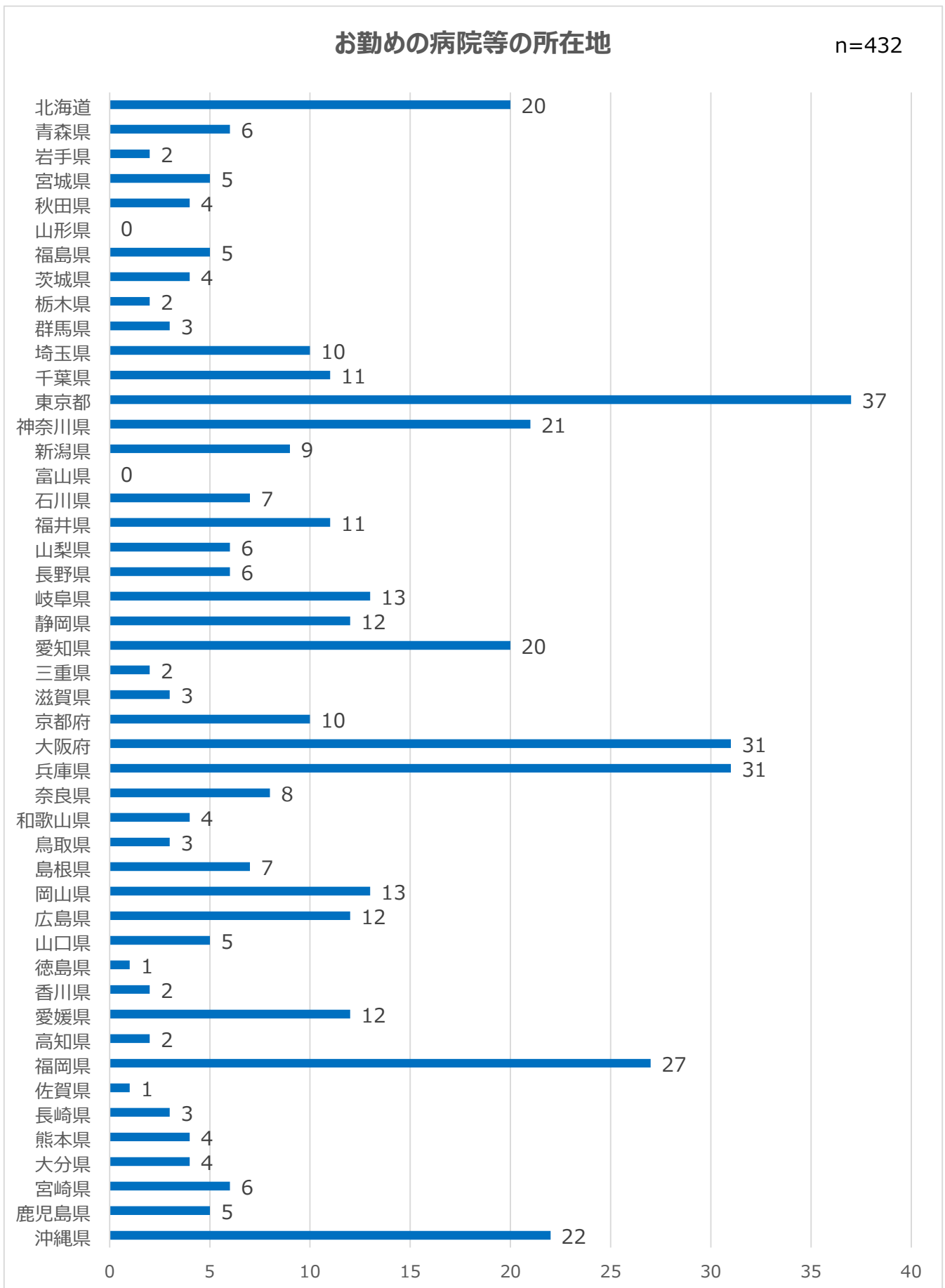
開催場所： オンライン (Zoom ウェビナー)

2024年6月18日に開催いたしました標題のセミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。  
 本セミナーには、986名の方にお申込みいただき、115件もの事前質問をいただきました。  
 当日はZOOM ウェビナーにて695名の方が参加、そのうち432名の方よりアンケートのご回答をいただきました。  
 なお、いただきましたご意見、ご要望等は、重複する内容をまとめたり一部抜粋したりしてご紹介しております。  
 判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原文のままとさせていただきます。  
 大変多くのご意見、ご感想をいただきまして感謝申し上げます。今後の活動に参考にさせていただきます。

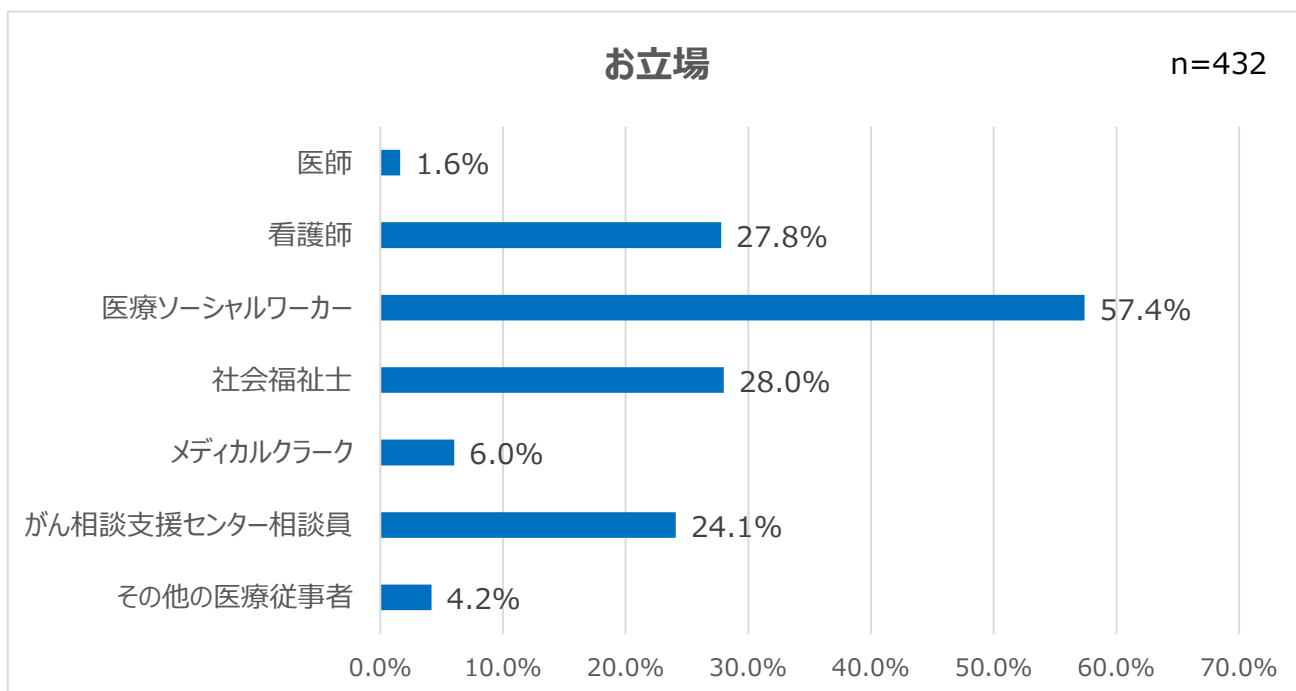
あなたの年代を教えてください



お勤めの病院等の所在地を教えてください



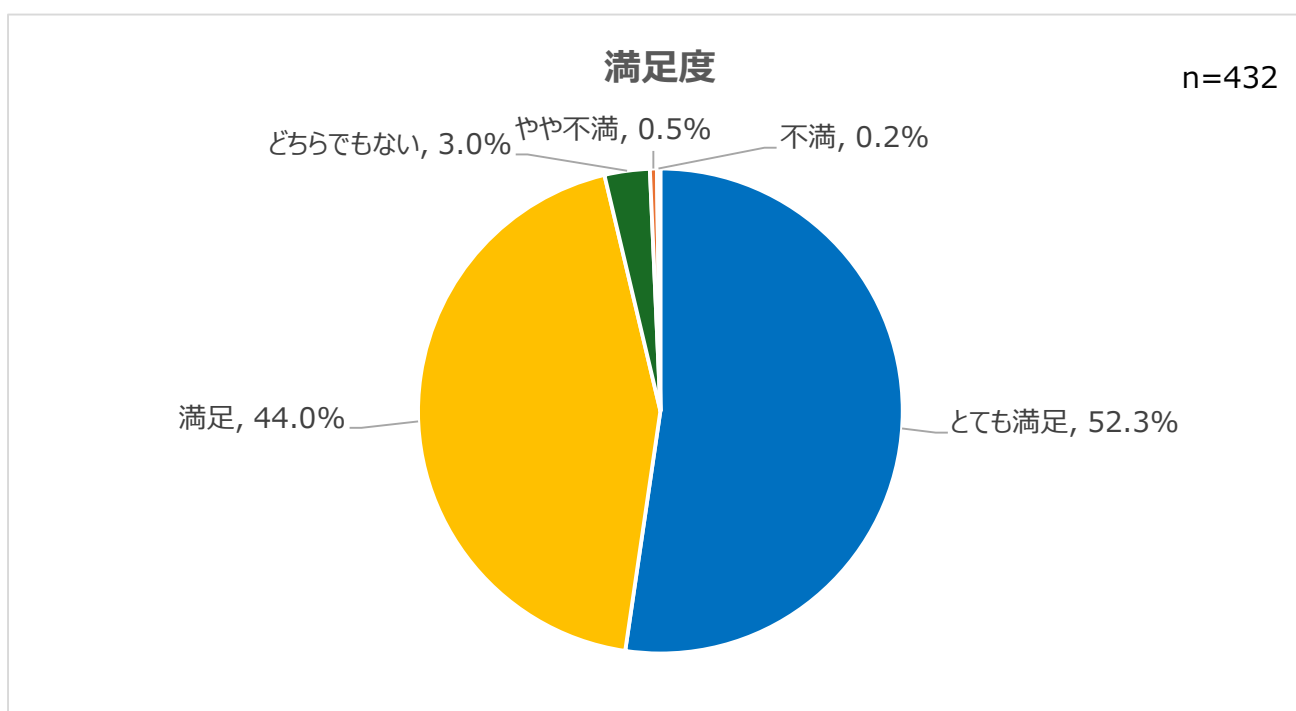
### お立場をお聞かせください（複数回答可）



#### その他の医療従事者

医師事務作業補助者（3人）、保健師（2人）、脳卒中ライフアドバイザー、地域医療連携部、社会保険労務士、精神保健福祉士、臨床心理士、事務・医事課入院係、医事書類担当、事務、ドクターズアシスタント、医師業務支援者、公認心理師、検査技師、自治体相談員、HCTC

### このセミナーの満足度をお聞かせください



## <とても満足>

- ・ 講師の先生のレクチャーがわかりやすかった
- ・ 実際の現場での動きや事例をもとに話してくださったのでイメージしながら聞くことができたため。
- ・ いつもは、年金の依頼が来たら下書きして先生へ回す。といった流れ作業のようにやっていた事が、その申請に至るまでの患者さんの気持ちなどを考えさせられる、とてもいい勉強会でした。参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・ お金の問題は治療を受けられている方の必ず起こる問題であり講義を聞いて良かった
- ・ 臨床ですぐ活かせる内容でした。
- ・ なかなか聞けない内容を分かりやすく教えて貰えたため
- ・ 聞きたいことが的確に聞けた
- ・ 具体的な支援方法やアドバイスが聞けたので。
- ・ 一般的な話しがよく分かった。参考資料も教えていただいた。
- ・ 聞きたかった質問がたくさん出ていて大変参考になった。
- ・ とても充実した内容で勉強になりました。できれば表示いただいた PowerPoint を配布資料でいただけたら更によかったと思います。（メモが追いつきませんでした）
- ・ がん患者に対しての障害年金を請求することに対して、自分自身のハードルが下がり説明しやすくなったため。
- ・ 先生方の熱意、具体例での説明など、とても良かったです
- ・ 分かりやすい説明で今まで知らなかったことがわかりました。
- ・ 講師の実践を知り、自分の実践を振り返ることができた
- ・ 県によって違う中で、他県の情報を知ることができたのも大きかった。
- ・ 障害年金について年金機構の HP をみても細かいところが記載がなく困っていました。事例を通してわかりやすく理解できました。
- ・ 患者様の困りごととして多いが、こうした研修がなかなかないため。
- ・ 請求のポイント、診断書の作成ポイント等の詳細について聞くことができた。
- ・ 障害年金の請求に至るケースは多くなく、自身も手探りの部分があったためとても参考になりました。
- ・ 申請の条件やタイミングなど新しい気づきをいただけた
- ・ 患者サイドでのディスカッション、大変興味深かった。
- ・ 制度の迷う事例を詳しく説明してもらえたため
- ・ 診断書の作成ポイントや一般状態区分も以上でなければ難しいと考えていたが、イでも検討するのがよいことを認識できた
- ・ どういった方が障害年金に該当するかもしれない、という指標がわかった
- ・ 年金請求の基礎の振り返りになったと同時に療養中の患者さんの支えになることを改めて認識させられた
- ・ 具体的な診断書の書き方を学びました。がん専門相談員として何ができるかを考える機会となりました。
- ・ 障害年金をどのようにがん患者さんにつなげていかイメージができた
- ・ 断片的な知識が繋がり、制度についてイメージすることができました。
- ・ 障害年金受給者の実例が多く紹介されていたので、今後の患者さんだけでなく、医療者への説明に活用できると感じました。

- ・ 障害年金の請求の際の具体的なポイントについて学ぶことができ、現場での実践に活用できそうであると感じたため。
- ・ 具体的な事例など役に立つことばかりでした。先生方の取り組む姿勢も素晴らしく、刺激をいただきました。
- ・ 現場に即した内容であったため
- ・ 事例を用いて具体的なことを聞いた、Q&A も参考になった、がんライフアドバイザー協会は医療従事者の団体と聞いてそこに参加するにはどうしたらいいのか知りたいと思いました。診断書記載の前に受診状況証明書などを記載するという順番も教えてもらい参考になった
- ・ 障害年金の申請にあたり、具体的にどのような状態であれば受給の可能性のあるのか、工夫についても知ることができたため。
- ・ 制度の説明がシンプルでわかりやすかったと思います。
- ・ 日々障害年金の相談を受けており、疑問に思っていたことが解消された。また、取り組みの姿勢についても振り返ることができた。
- ・ 障害年金について、職場でお伝えする立場としての重要なポイントなどを学ぶことができました。
- ・ がん患者の障害年金請求はハードルが高いと感じていましたが、もう少し積極的に案内してもよいのかなと感じました。具体的な請求方法のポイントが聞いて良かったです。
- ・ 障害年金の申請日、遡及、事後重症など図でお示しいただき、血液がんの方の具体例もとても分かりやすかったです。
- ・ 具体的な診断書作成のポイントがわかりやすく説明されていて参考になった。医師がいかに患者さんの経済毒性を緩和できるのかをともに考えていただける姿勢に感銘した。このような考え方が多くの臨床現場に行き渡ってくれることを切に願いたい。
- ・ 新人 MSW で、がん相談支援センターの相談員を担当しております。そのため、まだまだ障害年金について知識不足であり、今回のセミナーが非常に勉強になりました。
- ・ 基礎知識から色々なケース対応が学べたため
- ・ 診断書作成にあたり申請ではなく受給出来る大切な権利と踏まえ患者さんの支えに協力出来たらと思いました。
- ・ 請求する時期の整理ができました
- ・ 障害年金について、患者さんに対するアプローチに悩んでいたのが、糸口となりました
- ・ 今まで障害年金の関係の研修、セミナーをいくつか受けたことがあるが 1 番分かりやすかった。実務者が困るポイント、悩む点に上手くスポットが当たっていて、その点を解決できるような内容だった。
- ・ いつのタイミングで申請をしたらよいのか、また申請できるかを確認しておかなければならないなど、ポイントがわかりやすかった
- ・ 事例と認定基準を照らし合わせながらの解説がとても分かりやすかった
- ・ 書類作成のポイントや PS1 以上で請求を検討できることなど、新たな知識を知ることができたから。
- ・ 障害年金を受給する権利は誰にでもあること、また患者さんへご案内をするハードルをグッと下げていただきました。ただ、とても有意義な研修で、重要な部分を書き留めようと思いましたが、間に合わず、今回の資料などいただきたいと思いました。
- ・ 先生方の生の声のまなび、質問へのお答えがより理解を深めます。

- 具体的かつ分かりやすい説明でとても勉強になりました。診断書だけでは患者さんの日常的な困りごとや苦勞されていることが見えにくく、患者さんから丁寧に聞き取りたり就労等状況申立てに詳しく記載してもらうことの重要性を感じました。
- 医師の立場から障害年金の請求や診断書の書き方のポイントについて話が聞けたことが新鮮であり、勉強になった。また、制度に患者さんを当てはめるのではないという言葉が印象的であった。患者さんの をサポートするためにどんな制度が利用できるのか、どうすれば少しでも生活や治療への不安を減らせるかという視点を忘れずに支援にあたりたいと思った。
- 障害年金の基礎知識の振り返りができ、また MSW として忘れてはいけないこと(制度に当てはまるのではなく、患者家族が何に困っているのか、生活に目を向け相談にのること)を再確認し、とても学びの多い研修でした。
- 身近な事例を含め分かりやすかったです。血液内科を担当してるので、ありがたかったです。モチベーションも上がりました。
- 医療者向けの講演ということで、寄せられる質問が 普段相談員が疑問に思うところだったので、それらが聞けてよかったです。
- その利用者や家族の意向を鑑みて、必要な制度の案内が必要ということが分かりました。私自身も「障害」と言う言葉から、患者さんへ不快な思いをさせてしまったことを思い出しました。医師、看護師との協働を大事にしながら患者さんとその背景を見ていくことの大事さがわかりました。
- お二人の話が非常にわかりやすかったです。特に多田先生の請求書の記載ポイントの説明はとても良かったです。
- 患者さんの困り事から、必要としている制度を探すなかの一つが障害年金請求であるということ、情報がある中で選択できるようサポートしていくことなど日々の業務に活かします。
- 障害年金の基礎的な知識だけではなく、医師との連携のあり方、支給決定されるように持っていく実践的な考え方やその方法を学ぶことができ、本当に有意義でした。
- 具体的に障害年金の事例まで学ぶことができました。先生が「障害」「終末期」などの言葉について私達 MSW と同じ感覚を持っていらっしゃることを知ることができ嬉しかったです。素晴らしい先生だと思いました。また、障害年金を受給した先にある生活を考えながら私も引き続き患者さんご家族にかかわらせていただきたいと思います。
- 日々相談に対応する中での迷いが少し解消できた。
- もっと聞いていたかった。みなさんが寄せていた質問に全部答えて欲しかった。大満足です。勉強になりました。
- 知識の再確認と疑問点が解決できた
- とても良い講義でした。認定基準が曖昧な表記な故に、患者さんに提案する際とても悩みます。皆さんどうしているんだろうと思っていました。支援へのヒントをいただいた、またモヤモヤの共有もできてとてもよかったです。途中、聞き取りにくかった所があり、アーカイブを残していただけると嬉しいです。
- 先生方の思いを皆が持って多職種で関わることができれば、患者様が笑顔につながると思いました。
- 障害年金の申請を検討しているか方がいてタイムリーだった
- 制度の知識を学ぶだけでなく、障害年金に繋いでいくにあたって SW のアセスメントの重要性についても改めて考える機会となりました。
- たった 1 時間でしたがとても内容が濃いものでした。最後の質疑応答は自分でも同じように疑問を日々感じていることが数多く出ており、まだまだ時間が足りないくらいでした。障害年金については、老齢年金より医療現場ではもちろん出会うことがおいですが、医師に頼むにおいても大学病院であっても医師たちがよくわかっていな

いことも多く、自分自身に知識や経験を付けなければいけない分野だと感じていました。こういう具体的な講演の機会は大変ありがたかったです。

- ・ 症例を挙げてポイントをわかりやすく説明していただいたのでわかりやすかったです。先生のお話も医師の立場でここまで患者さんのことを考えて診断書作成をしていただいていることをお話していただき視聴された先生方にも大変意識の上でも参考になったことと思います。私たちが患者さんご家族とお話の際に言葉を選びながら患者さん家族等にとって役に立つ情報提供の在り方を日々洗練させていきたいと思ひます。
- ・ 普段なかなか相談しにくい内容について聞くことができたため
- ・ 障害年金って何？というところから、診断書の作成まで詳しく聞けて良かった。
- ・ 患者様に提案出来るように勉強していきたい。
- ・ すずめたい患者さんがいっぱいいます。
- ・ 制度の内容や記載内容を丁寧に書く事が、大切であると知った
- ・ 病気で働けないのに医療費と生活費がかかるので、使える制度に詳しくなりたいと思ってました。
- ・ 年金の請求方法などを学ぶために参加したが、それよりも患者さんの障害年金を受給する事での生活のしやすさの視点について考えさせられたから。
- ・ 診断書を代行する立場として患者さんに寄り添えるようにカルテをもっと読み込みたいと思ひました。
- ・ 患者さんの支援をする中で、治療と生活のことは大切なことであり、経済的な支援の一制度として、障害年金制度があると思ひています。そうと分かっているでもどう説明したら良いか、と悩む場面も多々ありました。今日の講演に参加できて、そういう事なんだ、と腑に落ちることをたくさん聞けました。
- ・ 障害年金のことを話すタイミングがよくわからなかったし、どの程度の障害の方がもらえるか、先生の診断書の書き方など聞けてよかったです。
- ・ 丁寧な聞き取りとカルテへの記載をこれまで以上に意識し、そして医師やメディカルクラークと連携し、障害年金の請求をサポートしていきたいと思ひます。
- ・ 「障害」「ターミナル状態」のような言葉は患者さんやご家族を傷つけてしまう可能性があることを今日改めて実感しました。
- ・ 患者様の抱える経済的な問題に対して、忘れがちな社会保障制度でありもっと活用されることが必要だと改めて感じました。
- ・ 先生のお話は同じ医療者の立場として障害年金について、どのように支援できるか、記載へのイメージがわかりやすかったから。
- ・ 患者さんの気持ちに寄り添い正しくサポートできるようになるためのヒントがたくさんあった
- ・ 障害年金の申請の流れなど普段行っているソーシャルワークの確認ができた。
- ・ 障害年金を請求するという事だけでなく、受け取る先まで考えてサポートするという事がよくわかった。
- ・ 障害年金について自分なりの解釈で良かったのか不安な点もたくさんあったため、改めて学べる機会があつてよかった。実践的なお話も大変貴重で有難かったです。
- ・ 具体的な診断書作成方法や、医師との連携のポイントについて理解を深められたため。
- ・ もう少し時間が長くて良かったのではないかと、思ってしまうほど、あつという間でした。
- ・ アドバイスが今までよりも詳しくできるようになったと思う
- ・ 患者さんが資料等を作成する際のご苦勞や精神的負担が伴う場面もある事を認識しました。
- ・ 現場レベルで実際に悩んでいることにヒントをいただけたため

- ・ 興味を持って、相談業務に関われそう
- ・ 実際の事例もあったことでより身近に感じました。病気とお金、切れる関係ではないため初診日や診断書の作成など日々の業務にこれまで以上に意識を向けることができそうです。分かりやすい説明でした。
- ・ 申請の障壁が軽くなる感じがした
- ・ 障害年金申請のポイントについて、相談員と医師それぞれのお立場からのお話を分かりやすく伺えたため
- ・ 特に、判断に迷うポイントなど、実際の支援事例を通して解説頂けたことです。
- ・ 障害年金の制度・患者対応時の医療者側の姿勢についての意見を聴くことができた。

### <満足>

- ・ ほぼほぼ無知でしたが、理解が深まりました。
- ・ 障害年金を紹介はできるがそれ以上踏み込んだ支援ができていなかったのととても勉強になったし、明日から使える知識をいただいた。
- ・ 音声聞き取りづらい時がありました。
- ・ 短時間で沢山の知識を得ることができたため。
- ・ ききにくいときがあった
- ・ 日ごろの疑問を解決できた
- ・ もう少し長い時間でもよかった。駆け足でもったいなかったです。
- ・ 具体例が示され、難しい制度ではあるが理解の助けになった。
- ・ 対象についての正確な情報を得られたことで、患者様に案内しやすくなった。受給の先にある生活のしやすさ、不安や負担感が軽減されることを意識して、積極的に紹介していきたい。
- ・ その人の人生を考えて情報を伝えていくということが分かりました
- ・ これまでがん患者の障害年金請求について詳しく理解していなかった。今回で請求方法がわかったため
- ・ 1年6ヶ月で障害年金の権利を考えてよいことがわかったので
- ・ 積極的な制度の利用が考えられていた
- ・ 目新しいことが少なかったので
- ・ 勉強になりましたが質疑応答の時間がもっとほしかったです
- ・ 日頃行っている支援の答え合わせができてよかった。
- ・ よくわかったが、もう少しゆっくりじっくりと教えて欲しいです
- ・ がん患者さんの障害年金申請は厳しい印象があった。困り事をいかに聞き出して医師へ情報提供できるか、ポイントだと学んだ。連携を頑張りたいと思う。
- ・ 川崎先生と多田先生とそれぞれ1時間ずつでもよいくらい、じっくり聞きたかった。
- ・ 時間が少なく省略されている話もあったので、満足にしました。
- ・ とてもわかりやすかったです。老齢前倒し受給後の障害年金手続きなども詳しく聞きたかったです。
- ・ 障害年金の請求について具体的に知れてよかった。主治医への伝え方を工夫すること、患者さんの日常生活状況を主治医に伝えることの大切さを知った。講演のスライドをいただけると嬉しかった。"
- ・ とても勉強になる内容でした。ただ、画面ががたまたたり音が途切れてしまう事があったのが残念でした。
- ・ 年金診断書のどの項目に注意して記載されているか、医師の立場からうかがえた点。
- ・ 時間帯も丁度良く、内容も大変勉強になりました。



- PS1でも請求の案内をしてよいことが知れてよかった
- 精神科での障害年金支援には多く関わってきましたが、がん相談支援センターでがん患者さんの相談を受ける中で対応に苦慮していた中での今回の研修案内でした。経済的な支援策に乏しい現役世代のがん患者さんに対する相談に明日から活かせる内容でした。
- 今までがん治療中の患者様で障害年金の受給を相談するために、市役所の窓口に行くと門前払いのように「難しいと思います」という返事をもらって帰ってくる患者様を多くみてきています。その一言で患者様もサポートが得られないまま、効果が得られている治療薬を医療費の関係で使用することを断念される方もいます。治療で苦しい思いをしている中で、経済的な不安が少しでも和らぐよう、生活の保障を一緒に考えていきたいと思いました。患者様の生活での困り事を詳しく知るようになってきたいと思います。
- やっぱり難しい話だな…と感じました
- 川崎さんの「制度をあてはめるのではなく、患者さんの困りごとから制度につなげる」という言葉がとても印象的でした。こちらから伝えることに躊躇するものもありますが、伝え方や提示するタイミングなど気をつけていこうと思います。あつという間の1時間でももう少し時間があってもよかったなと思ったので上記評価とさせていただきます。
- 音声や映像の乱れが気になっている間に内容を聞き逃す場面がありました。
- 多田先生のご講義で、申請支援に際しての医師との連携方法のヒントを得られたため
- 最近障害年金の相談も増え、基礎的な制度や、申請の支援をするときにどのようなことに気をつければいいのか勉強になりました。
- 患者は病気を持った生活者であるということを医療機関は忘れがちです。そのためには、患者さんと関わる医療者が社会保障制度を理解し、適切なタイミングでMSWやがん相談員へ繋ぐ必要があります。タイミングや患者の身近な存在である看護師ができることについて学ぶことができました。
- がん患者さんの障害年金該当は知っていましたが、実際体験もなく、今日のお話で利用の概要が分かり、とても勉強になりました。
- 障害年金の請求に苦手意識がありましたが、本日は知識を再確認出来ましたので、明日からは少し自信をもってご案内できるかと思います。
- なかなか身近な支援対応にならない疾病の支援例を学べたから。
- 音声が聴きとづらいときがありましたので、残念でした。
- 盛沢山の内容で大変参考になりました。もっとお時間があつたら…と思いました。
- 1年半を待たずに認められる事もある、2種類の申請で認められる事もあるなど
- 金銭的に困窮される患者さんが多くいらっしゃいます。その方達のお役にになれる情報で医師 MSW と連携し取り組んでいましたが、今回のセミナーはその一助になってくれると思いました。また早めに申請準備が必要とも思いました
- 支援者の視点として具体的だった。
- 障害年金を受給するためには、医師、本人と入念に相談し、診断書を作成することが求められると理解した。
- 生活の状況を診断書に上手く反映させる工夫など、普段あまり話を聞ける機会がないため。特に血液疾患だと障害年金の受給のハードルが高いと思ってしまっていた。
- 障害年金について相談を受ける機会はありましたが、どこまで自分が関わってアドバイスさせてもらったらいいのか、他の方はどのように支援されてらっしゃるのか不安だったので、大変良い時間でした。自分自身のモチベーションになりました。

- ・ タイトル通りの聞きたい内容が聞けたため。

#### <どちらでもない>

- ・ 看護師の立場では難しかったです。
- ・ 内容は満足だが時間がもう少しあるとよかった
- ・ 診断書のもっと細かい記入方法などについて知りたかったため
- ・ 記入具体例をもっと聞きたかった
- ・ 基本的なところは理解していると自信ができました。
- ・ 事前に資料があれば良かった
- ・ 60歳の方の障害年金のタイミングなどもう少し詳しく聞きたかったです

#### <やや不満>

- ・ 基礎的な内容でした。
- ・ 音声が非常に悪く、せっかくの講演内容がほとんど聞き取れなかった。事前の資料配布もなかったため、何を話しているのかほとんどわからなかったのが非常に残念です。説明で画面を共有いただいても小さすぎてわかりませんでした。改善されたら幸いです。

#### <不満>

- ・ 困っているから、かわいそうだからということが先行してしまい、そこに合わせるための申請になってしまうと、医療者の自己満足になってしまうのではと感じました。制度申請の原理原則に沿った伝え方が必要なのでは。

#### 今後、希望されるセミナーのテーマや内容があればお聞かせください

- ・ 障害年金について（38人）
  - 同じ内容でもう一度、繰り返し開催してほしい
  - 続きを聞きたい
  - 事例紹介をしてほしい
  - 固形がんが障害年金に積極的な先生のお話も聞いてみたい
  - 診断書の記入の仕方
  - 傷病手当金との併給について
  - 障害年金で乳がんの患者さんの相談も多いので、乳がんの医師で障害年金の申請の経験がある方の事例を交えた話が聞きたいです
  - 病歴・就労状況等申立書の効果的な記載方法について
- ・ 経済問題の支援全般（10人）
  - 高額療養費
  - がん患者さんが使える社会資源、社会福祉制度
  - 介護保険
- ・ がん患者の就労支援、両立支援、復職支援（10人）

- ・ AYA 世代の支援（6 人）
  - 介護保険適応にならない方のサポート
- ・ 在宅、介護関連（5 人）
- ・ 身寄りのないがん患者さん、独居の方（3 人）
  - 意思決定支援
  - 死後事務委任手続き
  - 皮膚疾患の処置
- ・ ACP（2 人）
- ・ 妊孕性温存（2 人）
- ・ 意思決定支援について（2 人）
- ・ 抗がん剤副作用について
- ・ アピアランスケアについて
- ・ ヤングケアラー
- ・ がん患者さんのためになる情報があればどんなことでも
- ・ メンタルヘルス
- ・ 成年後見制度の活用について
- ・ 在日外国人のがん患者さんのサポートについて
- ・ ゲノム医療